

180ミリの豪雨当市に集中

飯詰川、松野木川、十川荒れ狂う

八月十日夜半から、十二日朝までに当地を襲った局地的集中豪雨は、降雨量百七十八・八ミリメートル、金額にして一億三千万円をこえる大きな被害をもたらしました。十二日午前十一時には災害救助法を発動、防災会議を招集して、善後策が協議されて被災家庭への救援物資の配布等の活動が開始されました。

今回の洪水は、昭和十年の岩木川の氾濫によるものと趣を異にし、いわゆる五所川原市周辺の局地的集中豪雨のため中山系の水が急速に出水、飯詰川、松野木川、旧十川等の河川が氾濫したことによるものと推定されます。

被害箇所も、当然この川沿い地帯に多く、市では、直ちに災害対策本部を設置、佐々木市長の陣頭指揮で地元民をはじめ、消防団員市職員が一体となって被害を最小限度にとどめるに懸命の努力を払った結果、人命事故がなかったことは、幸なことでありました。

このため、市では、早急に、その復旧や今後の措置対策について陳情を開始しました。

市政ニュース

毎月1.15日発行 一部2円

発行所 五所川原市役所

水害特集号

水害お見舞い申し上げます

市長 佐々木 栄 造



被害額概要

一、家屋関係

○床上浸水 二百八戸

一千百八十五万円

○床下浸水 四百七十四戸

三百四十八万円

二、道路、堤防関係

○市道 四千三百五十五メートル

○県道 四千五十メートル

あわせて、五百七十万円

○堤防並びに施設 飯詰川

兩岸ともに三百三十メートルにわたって、決かい

の危険にさらされ、徹夜の警戒態勢がしかれました。

その他の河川も、同様の危険にさらされて、

損害施設費等で一千五十九万八千円

三、農業施設

飯詰川頭首工、水路、影

日沢農道、水路、農地、川

山揚水機、水路等が決かい

あるいは埋没、冠水して、

四百九十四万五千円

五、水田

冠水面積、六十六ヘクタ

ール、湛水面積三十三ヘク

タールで九千六百五十二万

円、計一億三千三百九万三

千円の大きな被害を出しま

した。

災害発生後の措置

十一日夜半から十二日朝

までにとった措置として、

出動団員 二百一名

水防団員 二百四十四名

消防署員全員非番招集、

水防計画に基づく第二指

令により、百五十名招集

堤防補強材料

吹 七百七十六枚

麻袋 七百六袋

杭 百本

炊出し

百五十世帯

避難命令

二十二戸

応急警戒措置

百戸

避難誘導、家具搬出

長富地区、松島団地

救援物資の配分

十三日に第一次救援物資

として毛布を、十八日に

は第二次として、毛布、

シャツ、タオル、石けん

および救援金を配分

衛生措置

床下、床上浸水地区の消

毒、被災家族の健康診断

を実施

各種資金、融資、補助

世帯厚生、母子福祉、災

害復興住宅、住宅改良各

資金

商工業者、農村災害融資

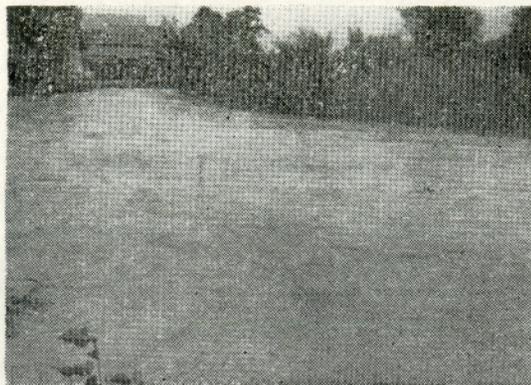
農業用施設災害復興補助

等をうける相談窓口の開設

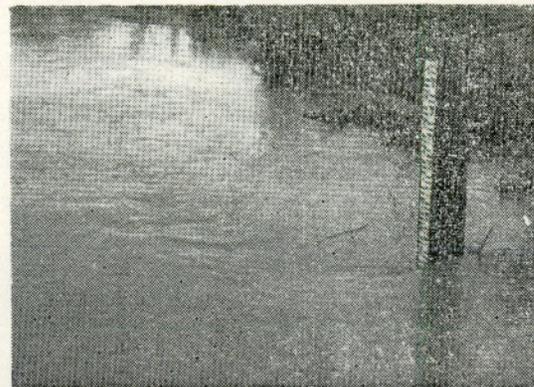
各関係機関の視察



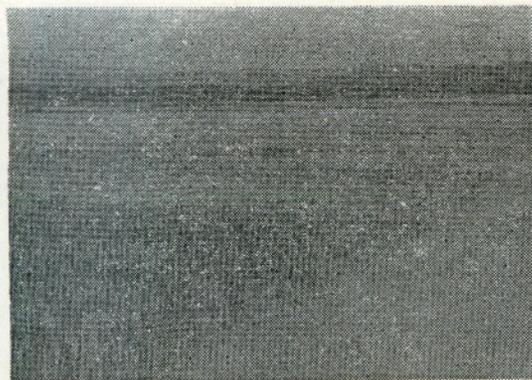
徹夜作業で決かいをまぬがれた飯詰川一長富



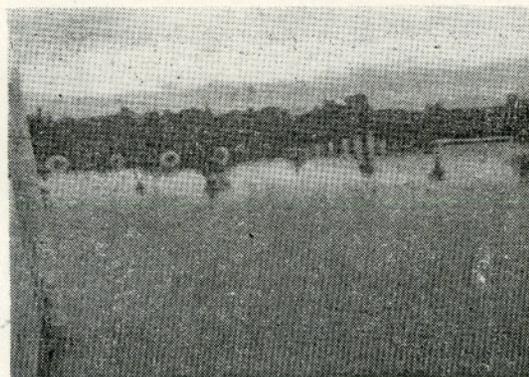
濁流うずまく飯詰川一飯詰下村



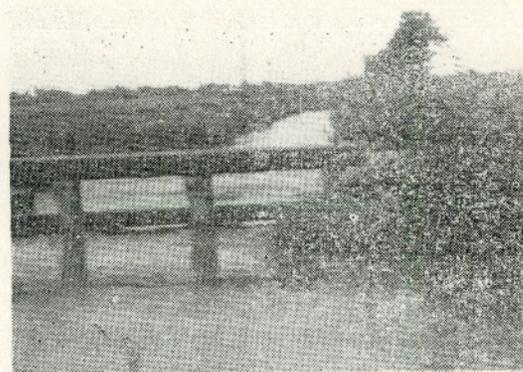
遂に危険水位をこえた～長富橋下



皆無作を伝えられている川山森地区の水田



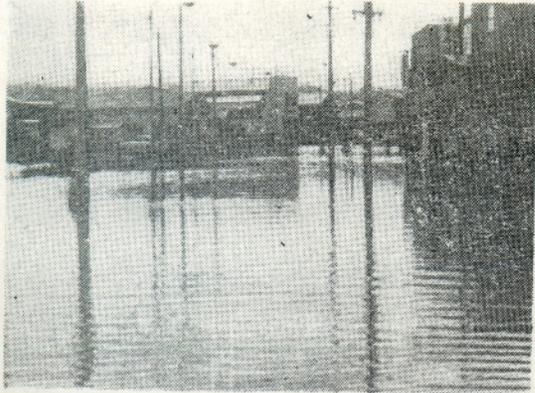
湖と化した松島小学校庭



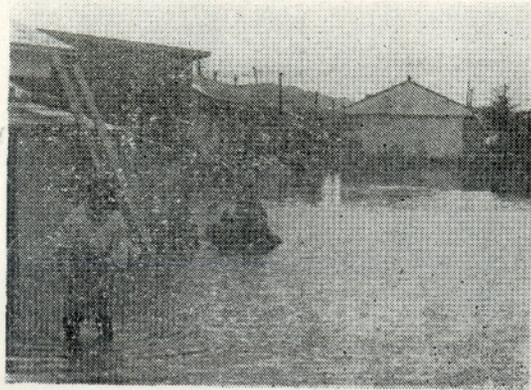
濁流に抵抗する悪戸水門

⑧

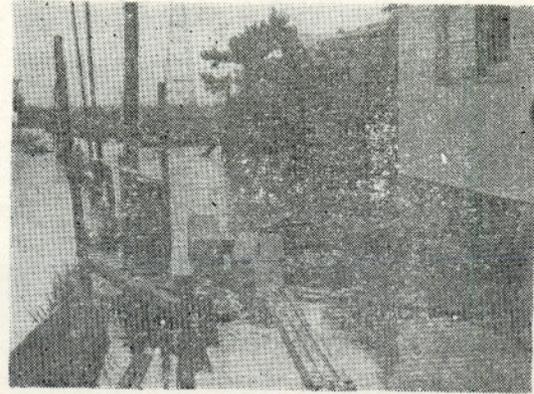
市政ニュース



水浸しの松島町大通り



膝まで水が一十川町



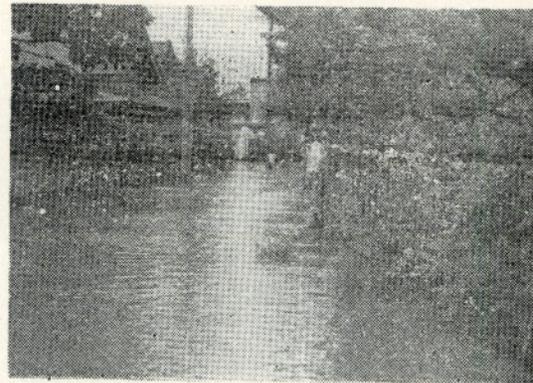
鎌谷町もかくのとおり



文明の利器、自動車も水には勝てない—
火葬場付近



原始的ではあるが筏で脱出—火葬場



ここに市道あり—桃崎

再び洪水の被害

県下一円に集中豪雨

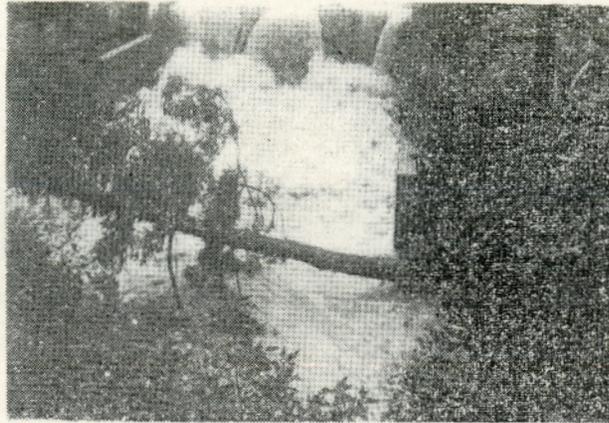
さきの洪水の恐ろしさも、さめぬうちに、八月二十日から二十一日にかけて県下をおそった集中豪雨により当市は九十一・二ミリ再び洪水に見舞われ飯詰川、松野木川は、再び

決かい寸前の状態となつて地域の方々を驚かせました市では、二十一日早朝、再び対策本部を設置、次々に入る情報をもとに、指令を発して万全の体制で当りました。

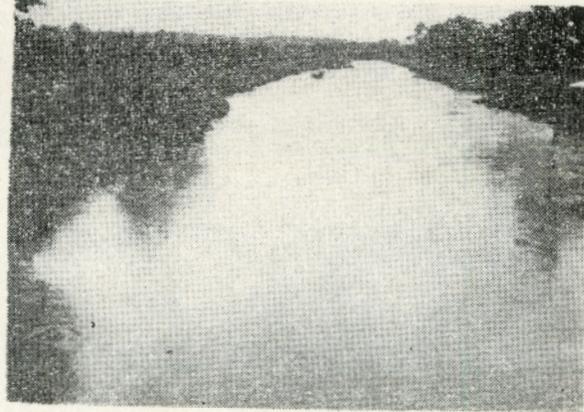
床上浸水四戸、床下浸水二百九十二戸、水田の冠水面積八十七ヘクタール、湛水面積三百九十ヘクタール市道関係の被害額（復旧費）二百八十八万円、水道の被害（飯詰浄水場の山くずれ道路決かい）二十万円で出動した水防、消防団員三



飯詰川上流糠塚川の水防活動



石田坂地区の土砂くずれ



再び、危険水位をこえた飯詰川一長富橋より

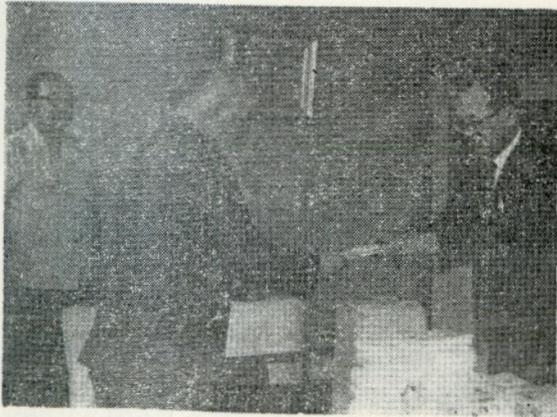
百名、堤防補強材料、帆六等で、被害総額は、前回より下廻ったとはいえ、水の恐ろしさがいやというほど、知らされました。とくに今回は、県

下一円の豪雨で、目屋、沖浦ダムの放水等があつて岩木川と十川の合流による水量の増加氾濫が最も心配され、雨が上った後も、夜半まで警戒体制がかけられました。

全国各地から 見舞品、電報とどく

さきの洪水により、災害救助法が発動されたが、報道機関を通じて全国各地に伝えられましたので各地から見舞いの電報、手紙が対策本部宛とどけられています。また五所川原郵便局では、被害家庭へと、手拭二百六十本、石けん六十箱を見舞

い品として、本部へ持参し配分方を依頼しました。こうした善意に対して市では、ていねいにお礼をのべて、しかるべく被災家庭に配分、伝達しています。この紙上を借りて、お見舞いくださった方々へ深く感謝いたします。



五所川原郵便局から沢山のお見舞品がとどけられる